

平成28年度ブラインド試験結果の総評

公益財団法人 放射線計測協会

平成28年度のブラインド試験^{注)}も例年どおり、参加各機関(4社)の線量計について、 γ 線、X線、中性子、 β 線の線量やエネルギーを変えて、全84件の試験を行いました。その結果、各機関が測定・評価した線量は、照射した線量に対する比率で与えると、84件すべてが $\pm 30\%$ の範囲内に入りました。

このうち、 γ 線については試験した28件すべてが照射した線量に対して $\pm 10\%$ の範囲内でした。また、照射した線量に対して $\pm 10\%$ を超えたのは、X線では試験した24件中4件($-13\% \sim +15\%$)、中性子では20件中5件($-24\% \sim +14\%$)、 β 線では12件中2件($+12\% \sim +17\%$)でした。これらの結果は、各機関が一定の品質確保に努力しておられる成果であり、高く評価できます。

今後も信頼性の高い個人線量測定サービスの提供のため、継続して品質向上に努められることを希望します。

注) ブラインド試験は、照射した線量を知らせずに(目隠しして)個人線量計を参加機関に返却し、個人線量計に照射された線量を独自に測定してもらうという手法です。